

No	①	分類	3-(2)-ア	資料名	たのしく あそぼう	学年	1・2年	領域	特別活動（学級活動）
----	---	----	---------	-----	-----------	----	------	----	------------

## 1 ねらい

- 友だちとのかかわりを楽しみながらゲームをする。

## 2 趣旨

- なかよしじゃんけんでは、いろいろなじゃんけんを通して、相手の様子をじっくり見ることや、相手と気持ちを合わせて取り組むことを体験させる。また、じゃんけんでは、「勝つ」手を出すことが当たり前だという思い込みがあると、なかなか意識を変えられないことにも気づかせる。
- いすわけあいゲームでは、みんなが座れるように協力し合いながらゲームをすすめるなかで、仲良く譲り合う心情を育てる。

## 3 配慮事項

- ゲーム終了後、振り返りの時間を持ち、気づきや感想を全体に広げる。
- 表情ワーク（幼稚園用教育資料『ほほえみ』に掲載 当課HPからダウンロード可）を活用し、今どんな気持ちかを聞くこともできる。

## 4 展開例

### 【なかよしじゃんけん】

- (1) 教師対子どもたち全員で後出しじゃんけんの練習をする。後出した方が、次の①から③の方法でうまく手を出せれば成功。  
①後出し勝ち ②後出し負け ③後出しあいこ
- (2) 2人組になって、交互に①～③をする。
- (3) いっしょに手を出すじゃんけんで、相手の気持ちに合わせてながら、あいこになるように挑戦してみる。
- (4) ゲームを通しての気づきや感想を交流する。

### 【いすわけあいゲーム】

- (1) 人数分より一脚少ないいすを用意する。
- (2) 音楽がとまった後、2人で1つのいすに座るなど、全員が座れば成功。
- (3) いすを減らしていき、みんなでどこまで座れるか挑戦する。
- (4) いすが減ってくると無理な体勢をとってしまうことがあるので、けがのないよう注意する。
- (5) ゲームを通しての気づきや感想を交流する。

## 5 参考

上記ゲーム以外に、人権学習の導入等で子どもたちの心をほぐす次のようなアイスブレイクもある。

### 【バースデイライン】

- ・話をせずに、1月1日を先頭に誕生日順に並ぶ。
- ・言葉以外のコミュニケーションをつかって伝え合う。

### 【ドキドキ・アイランド】

- ・床の上に新聞紙を一枚おき、その上にグループ全員が乗る。
- ・グループの代表者が教師とじゃんけんをして、負けると新聞紙を半分に折り、その上に全員が乗るようにする。だれかの体が床に着くとそのグループはおしまい。

### 【仲間はだれかな】

- ・教師がテーマ（外見からはわからないこと）を出し、同じ仲間を見つけてグループをつくる。  
例) 好きな動物、好きな給食、きょうだいの数

### 【なかよし動物園】

- ・動物の絵のカードを箱に入れておき、一人一枚ずつ選ぶ。
- ・互いにカードを見せずに、鳴き声や動物のまねをして仲間を集める。
- ・つくりたいグループの数だけカードを用意しておく、グループ分けにつながる。